



潮来市

平成14年1月

第104号

議会だより

発行責任者 議会議長 中野庄吾

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX) 0299-80-1100

11月25日、年末清掃大作戦に議会も参加しました。まだまだゴミの出し方において、マナーが守れていないようです。みんなで、きれいな、まちづくりに努めましょう。



延方駅周辺



市営あやめ駐車場

第四回定例会

○あいさつ	2～3	○委員会研修報告	28～29
○定例会概要	4～5	○議会活動日誌	30
○平成十二年度決算報告	6～7	○議会を傍聴して	31
○委員会要望書の提出	8～9	○議会へ一言	32
○一般通告質問	10～27		

新年のあいさつ

潮来市議会議長

中野庄吾



市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、皆様の御清福と御

繁栄を心からお祈りいたします。

私は昨年四月に潮来市が誕生し、潮来市議会の初代議長に就任しましたが、その後、議会の円満な運営と市政の伸展を第一義として、誠心誠意努力してまいり、おかげをもちまして、大過なく越年することができました。これは、ひとえに皆様の御支援と御協力のたまものと、心から感謝申し上げます。

顧みますと、二〇〇一年は米国での全世界を震撼させたテロ事件で数千人の犠牲者ができました、その後”対テロ戦争”が始まりましたが、タリバン体制は事実上崩壊し、第一局面は終局時期に入り、第二局面は中東問題の核心である、パレスチナ問題の解決に入りつつあります。えひめ丸の事件では若い命が失われました、まだ一人の遺体が発見されていませんが、早く発見され家族の元へ帰ることを祈ります。また日本では、出口の見えない不況で企業の倒産、リストラ等大変厳しい経済状況でありましたが、十二月に皇太子ご夫妻に待望のお子様がご誕生したことは、二〇〇二年を迎えるに当たり、国民には明るい陽射しを受けるこ

とができました、そして愛子様の健やかな成長を願うものであります。

さて、潮来市ですが合併し全国各地から一〇〇団体近い市町村議会の皆様が視察に来てています、意見交換の中でどこの市町村も大変厳しい状況であります、これから自立し住民の生活と福祉を守っていく為にはどうしても合併は避けることは出来ないと言う意見が主であります。潮来市は合併特例法により、財源的な保障がされましたので、二〇〇二年ワールドカップ、インターハイの開催、「道の駅いたこ」のオープン等二十一世紀を開く交流の時代にふさわしい舞台づくりを進めることができます。

二〇〇二年こそは、市の躍進するスタートの年として、国及び県の施策と相まって、最大の効果が上がるよう、市政全般にわたり最大の努力を傾注する所存でありますので、なにとぞ、倍旧の、御指導とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、二〇〇二年が、皆様にとりましても、最良の年でありますよう、心からお祈りいたしまして、年頭の挨拶と致します。

あ

ご



新春あいさつ

潮来市長
今泉

和

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃から、市議会議員の皆様には潮来市の発展と住民福祉向上のためにご尽力を頂き心から敬意を表する次第であります。昨年中は市制各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

合併後、初めての正月を迎えて私も、例年とはまた違った感動をおぼえています。

現在の社会は、まさに大きな変革の時代を迎えております。国においては、さまざまな景気対策が講じられておりますが、低迷する経済情勢をはじめ、厳しい財政環境、少子・高齢化の急速な進展、国際化や情報化への対応、環境問題など大きな課題が山積しています。また、地方分権の進展とともに、地方の時代、あるいは都市間競争の時代といわれるなかで、私たちの潮来市を将来にわたり明るく住み良いまちとして発展させていくためには、行政はもとより企業や団体そして市民の皆様が、共に知恵をだし合い一丸となつてまちづくりを進めていく、いわゆる共生のまちづくりが必要であります。

その実現のためにも、開かれた行政を一層推進するとともに、皆様方の優れた感性や能力が發揮しやすい社会システムづくりなどをこれまでの枠組みを変えていくことが合併建設計画の目標でもある「水辺などの自然を活かし、さまざまなおふれいのある、住民が豊かさを実感でき

るまち」の実現につながると考えております。

合併記念事業としまして、美術館建設事業を進めてまいりましたが、市民の皆様方をはじめ、議会、専門家の皆様のご意見を参考にいたしまして、総合的に判断しました結果、美術館構想の事業の見直しを決断し、市庁舎とあわせた（仮称）市民交流センターの建設の方針案をうちだしたところであります。本年は、市民の皆様を含めた市庁舎建設検討委員会のなかで建設場所等の調査検討を行つてまいります。

本年の主な事業につきましては、待望久しきかった「道の駅いたこ」が四月のオープンを目指し順調に進んでおります。これまで住民の皆様方から多くのご要望がございました幼稚園の二年保育の件でございますが、本年四月より延方幼稚園が二年保育と併せて五時まで延長保育を実施します。また、大生原幼稚園は、園児減少のため廃園となります。

次に、子育て支援強化のため、市立の二保育所がこれまで午後四時までの預かり時間を四月から二時間延長し午後六時までとします。牛堀統合小学校校舎建築につきましては、平成十四・十五年の二ヵ年で計画を進めてまいります。

さらに、男女共同参画社会の実現のため、潮来市男女共同参画推進条例の制定にむけて努力してまいりたいと考えております。また、市としまして、長年の懸案事項でありました既存高速バス停の改善のため高速バスターミナル整備事業を進めております。この事

業は、既存の高速バス停の利用者が不便をきたしていることから潮来インターの西側に上下線を一体的に利用が出来るよう整備し、利用者の利便性や安全性を確保するため、平成十四年度完成を目指しております。

次に、いよいよ本年は、六月にワールドカップ、八月にインターネットハイが開催されます。

昨年十二月、ワールドカップの広告塔を潮来インター入口に設置し、開催へのアピールをはじめました。茨城県ではカシマスタジアムで六月二・五・八日の三日間開催されます。多くの観戦者に備えて、「道の駅いたこ」の隣接地に駐車場（一七〇〇台）の整備を行つてまいります。大会には市民ボランティアの皆様のご協力を頂き、花いっぱい運動を展開しながら大会を盛り上げてまいります。

さらに、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）につきましては、当市がボート会場として、八月一日から五日間の日程で開催されます。全国各地から多くの選手・役員を含めた来客をお迎えいたしますので、大会が成功するよう皆様方のご協力をお願いします。

最後に、本年も市議会議員の皆様と共に、全力で市政運営に取り組んでいく所存であります。今後ともなお一層のご理解とご協力をお願ひ申し上げますとともに、皆様方にとりまして本年がよりよい年でありますようにご祈念申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

条例改正

牛堀地区の水道加入金 が改正されます

潮来市水道事業給水条例の一
部が改正されました。牛堀地区
の加入金を潮来地区に統合し
て、水道事業の促進並びに円滑
を図るものとあります。

加入金については、左の表の
とおりです。

こんなことをきめました

平成13年度補正予算など4議案を可決

第4回定例会は、12月4日から12月7日までの4日間にわたり開催されました。

主な議案は、条例改正1件、補正予算2件、意見書の提出等です。一般通告質問に
ついては、9名の議員が登壇し、執行部の所信が問われました。

水道加入金

区分 メーターの口径	加入金
13 mm	157,500円
20 mm	378,000円
25 mm	588,000円
30 mm	840,000円
40 mm	1,501,500円
50 mm	2,331,000円
75 mm	5,250,000円
100 mm	9,324,000円
150 mm	20,979,000円

補正予算

一般会計予算

十二月四日（火）本会議
開会

平成十三年度の一般会計予算
歳入歳出それぞれを一億五千九
百七十一万九千円を追加するこ
とを可決しました。

市長あいさつ
提出議案審議

特別会計予算歳入歳出それぞれ
を五百二十二万八千円を追加す
ることを可決しました。

市政一般に関する質問
出席議員三四人

補正後の予算は、二十八億七
千八百七十八万一千円となりま
す。

出席議員十一人
(傍聴者)

十二月五日（水）本会議
市政一般に関する質問
出席議員三四人

十二月六日（木）休会
(傍聴者)

十二月七日（金）本会議
委員会審査報告
請願・陳情審議

閉会
出席議員三四人
(傍聴者 一人)

会議経過

第四回定例会の傍聴者は、九
人でした。

第四回定例会



請願・陳情の審査結果

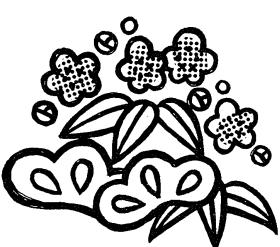
受付番号	件名	審査結果
請願第2号	食中毒防止に関する請願 (13・9・21 教育福祉委員会付託)	採択
請願第5号	国に対して「緊急地域雇用特別交付金事業の改善・継続」と「緊急の就労事業」の意見書提出を求める請願 (13・9・21 環境経済委員会付託)	採択
請願第6号	不法投棄廃棄物の撤去に関する請願	採択
陳情第3号	陳情書（北浦湖岸土地改良区関係）	環境経済委員会付託
陳情第4号	「ゆきとどいた教育を保障するための教育条件改善に関する意見書提出」の陳情書	教育福祉委員会付託

第五回臨時会

こんなことをきめました

平成12年度潮来町・牛堀町の歳入歳出決算を認定

第5回臨時会は、11月12日から16日までの5日間にわたり開催されました。
主な議案は、条例改正2件、決算認定6件です。



潮来市立幼稚園設置条例の一部が改正されました。少子化社会の中で、児童数が減少するため、大生原幼稚園を廃園し、市内幼稚園施設を統廃合するもので

大生原幼稚園が廃園となります

潮来市保育所設置条例の一部が改正されました。保護者の申請により午後6時まで延長であります。
核家族化、女性の社会進出等による保育ニーズの多様化に対応するため、子育て支援の強化を図るもので。

潮来市保育所設置条例の一部が改正されました。保護者の申請により午後6時まで延長であります。

保育時間が午後6時まで延長されます

条例改正

決算認定



決算特別委員会

平成十三年十一月十四日に委員会が開催され、各委員と執行部による質疑応答が行われ慎重に審査がなされました。

十六日の本会議において、六議案は、賛成多数によりすべて認定されました。

決算、牛堀町歳入歳出決算、牛堀町工業用水道企業会計決算、牛堀町環境衛生組合歳入歳出決算の六議案については、小沼昭郎議員を委員長とする決算特別委員会に付託され審議されました。

われた

潮来町 135億7,654万円

平成12年度 潮来町歳入歳出

一般会計

単位：円

歳 入		歳 出	
町 税	2,453,852,823	議 会 費	131,874,001
地 方 講 与 税	160,956,000	総 務 費	1,052,055,196
利 子 割 交 付 金	101,774,000	民 生 費	1,368,429,006
地 方 消 費 税 交 付 金	211,667,000	衛 生 費	1,000,644,953
ゴ ル フ 場 利 用 税	37,227,008	農 林 水 産 業 費	429,072,525
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	3,521,000	商 工 費	155,899,642
自 動 車 取 得 税 交 付 金	82,609,000	土 木 費	911,630,749
地 方 特 例 交 付 金	84,643,000	消 防 費	366,563,517
地 方 交 付 税	2,688,850,000	教 育 費	1,691,689,606
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,307,000	公 債 費	641,811,888
分 担 金 及 び 負 担 金	240,815,465	諸 支 出 金	108,379,848
使 用 料 及 び 負 担 金	73,086,388	予 備 費	0
国 庫 支 出 金	483,657,098	災 害 復 旧 費	36,287,134
県 支 出 金	355,343,763	合 計	7,894,338,065
財 产 収 入	15,836,535		
寄 付 金	51,944		
繰 入 金	382,418,726		
繰 越 金	161,914,910		
諸 収 入	68,751,317		
町 債	526,900,000		
合 計	8,139,182,977		

特 別 会 計

特 別 会 計 決 算	決 算 額
國 民 保 険	2,103,519,076
老 人 保 健	1,681,170,334
下 水 道 事 業	1,196,077,120
土 地 取 得 事 業	55,946,050
農 業 集 落 排 水 事 業	48,529,494
介 護 保 険	517,472,415
墓 地 事 業	79,496,320

一般会計においては、町税の落ち込みなど町税収入の低迷や公債費の累増等によって、大幅な財源不足にある一方、ますます増大する行政需要への対応を迫られるなど依然として厳しい財政運営を強いられるなか、経費削減に努めてまいりましたが、公共施設整備等のため、基金の取り崩しをして財政運営にあたることになりました。しかしながら、人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、年々増加を続け、また、広域消防、なめがた地域総合病院、潮来・牛堀2町環境衛生組合等の負担金においても新たな増加要因が生じ、重点事業実施のために地方債等に依存せざるを得ない状況が続きました。主な事業としましては、合併のための広域行政調査経費、制度開始に伴う介護保険特別会計繰出金や墓地事業特別会計繰出金、(仮称)水郷活力サポートセンター建設事業、潮来第一中学校校舎改築事業、艇庫改修工事、ダイオキシン対策整備事業等の重点施策事業の積極的な展開を図りました。

どう使 牛堀町 46億5,984万円

平成12年度 牛堀町歳入歳出

一般会計

単位：円

歳 入		歳 出	
町 税	693,789,868	議 会 費	76,705,268
地 方 譲 与 税	45,891,000	総 務 費	484,939,022
利 子 割 交 付 金	25,775,000	民 生 費	406,529,907
地 方 消 費 税 交 付 金	54,930,000	衛 生 費	419,476,471
ゴ ル フ 場 利 用 税	10,767,555	農 林 水 産 業 費	158,328,732
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	135,000	商 工 費	20,151,197
自 動 車 取 得 税 交 付 金	23,344,000	土 木 費	511,438,369
地 方 特 例 交 付 金	24,699,000	消 防 費	118,555,608
地 方 交 付 税	1,337,629,000	教 育 費	489,756,112
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,398,000	公 債 費	323,691,356
分 担 金 及 び 負 担 金	21,236,460	諸 支 出 金	0
使 用 料 及 び 負 担 金	11,319,467	予 備 費	0
国 庫 支 出 金	137,554,984	災 害 復 旧 費	0
県 支 出 金	59,170,962	合 計	3,009,572,042
財 产 収 入	9,187,150		
寄 付 金	7,591,500		
繰 入 金	347,335,481		
繰 越 金	211,469,437		
諸 収 入	94,507,007		
町 債	84,100,000		
合 計	3,201,830,871		

特 別 会 計

特 別 会 計 決 算	決算額
國 民 保 険	542,569,160
老 人 保 健	579,203,669
下 水 道 事 業	334,844,044
介 護 保 険	193,653,574

一般会計においては、潮来町同様長期的な景気低迷による個人町民税の減収や設備投資の減少基調などから自主財源確保が難しくなってきており、多様化・高度化する住民ニーズに応えていくことが厳しくなってきています。平成12年度においても経常経費の節減合理化を旨とし、財源の計画的・重点的な配分を徹底し、効率的な財政運営を行うよう努力しておりますが、人件費、累積した公債費、広域行政に係る補助費などの義務的性格の経費増加により、地方債や基金繰入などの依存財源により事業費をまかなう結果となっています。主な事業としては、合併のための電算移行・式典等の準備経費、介護保険特別会計繰出金、道路新設改良事業、公園整備事業、統合小学校建設事業、かすみ市民プール建設事業、ダイオキシン対策整備事業等を執行いたしました。

なお、合併に伴い牛堀町の会計は、平成13年3月31日打ち切り決算となっており、残債務、債権ともに新潮来市に引き継いでおります。

要望書の提出

- 会等)・観光ボランティア団体が観光事業に対しなお一層の連携を図られたい。
6. 各種イベント事業の運営方針等の見直しを検討し、自立を図られたい。

環境課

1. ごみ減量化対策及び分別収集対策の推進を図られたい。
2. 環境保全対策として、長期的視点に立ち総合的かつ計画的な行政運営を目的とした長期計画の策定を図られたい。
3. 水質浄化対策の一層の推進を図られたい。

4. 不法投棄防止の対策に努められたい。
5. 適正な土採取事業を図られたい。

クリーン施設課

1. 溶融スラグ及び焼却灰の最終処分場の早期建設を図られたい。
2. ヘルスランドさくらの増築等及びトレーニングマシンの買い替えを図られたい。
3. 粗大ごみのリサイクル化を図る施設の早期建設を図られたい。
4. 生ごみ(事業系を含む)のリサイクル化を図られたい。

建設委員会

都市建設

1. 地方道路計画に基づいた都市計画又、市道整備と雨水排水路整備などについて、地元からの要望に応じていくために、建設予算の大幅な増額を図られたい。
2. ゴルフ場関連の周辺道路については、協定書に基づき早期整備を図ること。
3. 常任委員会で審査した案件を重視し、速やかに予算付けをすること。
4. 新神宮橋を含む国道51号、国道355号バイパス県道潮来佐原線から国道51号、県道潮来佐原線から県道大賀延方線についての早期完成と、新51号バイパスの路線決定について関係機関へ積極的に要請されたい。
5. 都市計画道路3・4・4潮来駅江寺線(国道51号～(牛)1～3号線環状線及び主要地方道路水戸神栖線)の整備に向けて積極的に取り組みを図られたい。
6. 前川治水、環境問題解消を早急に推進されたい。
7. 潮来市中心地活性化検討委員会による、旧両町活性化のため事業の対応を議会と充分協議の上、具体的かつ積極的に進められたい。
8. 須賀・曲松下開発事業については、今後地権者の同意が得られ次第、積極的に事業を推進されたい。
9. 急傾斜事業が早期に進められるよう、危険箇所の指定と採択を図られたい。なお、大塚野地区の急傾斜地危険個所についての用地買収を早急に進められたい。
10. 「道の駅潮来」が高速道路のパーキングエリアやサービスエリア等と同じ機能を生み出し、活力ある道の駅にするためにも高速道路と併合出来るよう関係機関と協議願いたい。

減に努めること。

4. 調整区域については、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置事業の促進整備を図られたい。
5. 財政負担の軽減を図るため、公庫資金の借り換えを引き続き促進するとともに、政府資金においても借り換えができるよう要望されたい。

水道事業

1. 水道水源の水質検査の強化を図り、安全で信頼できる水の供給に努めるため、高度浄化処理(オゾン処理)の施設を取り入れるよう検討されたい。
2. 水道事業会計に対し、引き続き財政援助を図られたい。なお、援助額については、企業会計の健全維持が図られる額を願いたい。
3. 石綿管更新並びに新設管布設については、整備計画を樹立し、計画的に進められたい。
4. 財政負担の軽減を図るため、公庫資金及び政府資金の借り換えができるよう要望されたい。

地籍調査事業

1. 現在、牛堀地区を実施しているが、潮来地区についても推進されたい。
 2. 予算の増額と職員の適正配置を図られたい。
- ◎一般土木、上下水道等の工事施工に当っては、請け負い業者に対し、指導監督の強化を図られたい。



下水道

1. 地域の生活環境改善を図るため、面整備についての大規模な事業費の確保と事業の促進を図られたい。
2. 公共下水道及び農業集落排水施設への未加入者の水洗化促進を図られたい。
3. 有効率の向上に向け不明水の解消に努め、更に経費削

平成14年度 委員会

総務委員会

1. 潮来市建設計画（合併まちづくり計画）を着実に推進するとともに、健全財政維持と財源確保に最善を尽くすよう図られたい。
2. 米国の同時多発テロ以来、世界的な景気の低迷が続き、日本経済もマイナス成長が見込まれ、税減収は避けられない状況にあるが、債権管理機構等の利活用により収納率の向上、税の公平確保に努力されたい。
3. 滞納、不納欠損措置については、不納欠損特別審査委員会を策定され対応されたい。
4. 自治消防組織の見直しを図り、機庫等の助成を図られたい。
5. 「潮来市防災計画」を早急に策定するとともに、避難場所等を明示した「防災マップ」などにより、市民の安全確保へ向けた防災まちづくりに努めること。
6. 公務能率の向上のため、人材育成基本方針に基づいた計画的な職員研修等を積極的に実施し、職員の意識改革と組織の活性化を図ること。
7. 各常任委員会の視察研修への職員の随行は、2名派遣されるよう願いたい。

教育福祉委員会

福祉部予算要望

1. 外国人登録システムを導入し、外国人登録事務の効率化を図られたい。
2. 予防接種、健康診断を充実させるとともに、健康管理システムを導入し、住民の健康管理、健康増進及び事務改善を図られたい。
3. 高齢者福祉を充実させるため、「老人保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するため万全の体制を整えられたい。
4. 障害者プランを策定し、障害者施策の充実を図られたい。
5. 精神障害者福祉一部移管のための事務体制の強化、生活支援事業のためのヘルパーの確保を図られたい。

教育部予算要望

1. 教育用コンピューターについては第3次新整備計画「ミレニアムプロジェクト」に則り年度別に充実を図られたい。
2. 潮来第一中学校体育館、牛堀統合小学校建設を計画通り推進されたい。

3. 児童・生徒の読書離れを防ぐため、より一層の学校図書の充実を図られたい。特に分離新設校日の出中学校の図書の増冊をお願いしたい。
4. 教科書改訂に伴う教科用指導書・教材等の購入について十分な予算措置をお願いしたい。
5. 旧潮来地区小学校のパソコン教室へのエアコン設置を進められたい。
6. 各学校の安全確保の観点から、未設置校の門扉設置を進められたい。
7. 年々老朽化している学校施設を維持するために、工事費と修繕料の充実を図られたい。
8. 平成14年度全国高校総体ボート競技開催にあたり、予算と人員の確保を図られたい。
9. 旧潮来町・旧牛堀町の遺跡地図、文化財マップ、指定文化財冊子等の文化財資料を潮来市として一本化を図るとともに、併せて貴重な埋蔵文化財の学術的な発掘調査を進められたい。
10. 市民スポーツ振興のため、前川運動公園の整備を図られたい。

環境経済委員会

農業委員会

1. 合併に伴った適正な人員配置を図られたい。

農政課・農業振興課

1. 本市の農業の在り方や農業育成のための計画を作成し、広く農業従事者に対して啓蒙し農業振興を図られたい。
2. 道の駅の特産品販売に向け、農産物並びに特産物の安定供給を図るとともに、新たな農産物の特産品を開発し、農業振興につながるよう図られたい。
3. 道の駅運営に際し、健全な運営に努められたい。
4. おいしい米づくりに向け地力を増進させるために、景観形成作物としてれんげの導入を図られたい。

観光商工課

1. 経済不況や雇用対策など商工業を取り巻く状況は依然と厳しい状況であることからなお一層の商工業者への支援対策を図られたい。
2. 観光産業及び商店街活性化のため、あやめ祭り期間中（サッカーワールドカップ開催）及びインターハイに周遊バスの運行を図られたい。
3. 水郷潮来観光協会、水郷牛堀観光協会の振興と統合推進支援を図られたい。
4. 潮来商工会、牛堀商工会の商業振興推進を図り、合併と合わせて商工会館建設に向け支援を図られたい。
5. 行政・観光産業関連団体（観光協会・旅館組合・商工

般質問

市政の課題を問う（要約）

一般質問の質問・答弁は 質問者が編集したものです。

住民の福祉のために

沼里潤三郎議員



沿里議員　裁判で産廃処分場を「建設
ても、使用しても、操業して
いけない。」と決定が出て、こ
れが確定していた水原の産
廃処分場用の大穴に何者かによ
り三三〇〇m²にも達する産廃が
法投棄された。砂地の大穴だ
けに直ちに有害物質が地下水に
透する危険が大きく、井戸水
住民の生命の水が汚染され更
する悪質極まりない所業であ
る。その上法の決定にさえ挑
水原産廃差止め地への
産廃不法投棄撤去を

この住民の鬪いへの支援は全町を挙げたものとなり、町は産廃持込み反対の宣言を出し、議会は産廃処分場建設反対の議決を行うと共に県に対して「受付」を取消す様、意見書を出した。全町的な署名運動が取込まれ、横山地区（水原地元）で一〇七名、大生原地区で一三三四六名、その他の潮来地区で一一七八二名、全有権者の七割もの署名が集められて裁判所へ提出された。判決前には全町的な決起大会も

されではいけない。一度汚染された地下水の汚染除去は困難で受忍の限度を超える。人格権（住民の環境権）は業者の言う（県の言う）公共性にまさる。これは実定法上の具体的権利である。事前に調査もせず（立地段階での調査義務）建設を進めることは何事だといつているのである。この点では県も同罪なのである。この決定は県も叱つたものとなつてゐる。又決定後、地主と住民側で念書を交わし、原状回復

とも協力して頂き、立入れない杭を打ち、県もパトロールを行いました。市は雨で有害物質が流れ出さない様シートで覆いました。住民の井戸水調査を行いました。これが異常ありませんでした。この処分場建設問題や裁判の経緯、その意義については全く沼里議員の仰るとおりです。警察が捜査を進める中、埼玉県の中间処理業者が市へ来て、自社分一〇㍍を撤去する旨申し入れ

とも協力して頂き、立入れない杭を打ち、県もパトロールを行いました。市は雨で有害物質が流れ出さない様シートで覆いました。住民の井戸水調査を行いました。これが異常ありませんでした。この処分場建設問題や裁判の経緯、その意義については全く沼里議員の仰るとおりです。警察が捜査を進める中、埼玉県の中间処理業者が市へ来て、自社分一〇㍍を撤去する旨申し入れ

市は直ちに対応、一部は埼玉の業者撤去、残りは地主撤去予定

行われた。こうして、平成十年九月一日まで五二〇日に及ぶ裁判と五回の審尋、こちらの手による京大 中川教官グループを呼んでの地質地形調査、井戸水調査等を行い、科学的根拠に基づいて危険性を証明してきた。

復を地主は約束している。地主側が約束を守らなければ県が廻り回復に責任を持ち、山土で元通りに埋め戻すのが当然である。そうではないですか。市としてどの様に対応し、また、対応しようとしていますか。

直ちに撤去しました。残り二一〇m²は所有者の責任で撤去します。原状回復も所有者の責任で良質土で行われる筈です。

潮来保健センター 潮来で充分では

沼里議員

潮来に元々あった保健センターは、多くの潮来市民に大変便利に使われてきた。なぜそれを牛堀に移さなければならぬのかさっぱり分からぬ。潮来の住民は圧倒的に多いが逆に不便になる。今まで通りやつて不都合な面は何もない。住民の多くが不便で困ると言つてはいる。

何で市役所の近くに既に保健センターがあるのに、牛堀に保健センターをつくる必要があつたのかは尚わからない。住民の便利が一番ではないか。

内田福祉部長

かすみ保健センターが出来て大変便利になつたと牛堀の人達には喜ばれている。事務はここで行うが業務は潮来でも行つておりサービス低下にはならない。

介護「保険料」も 減免すべきでは

沼里議員

来年高卒者の就職予定とその対策を

自公保政府の大悪政の中、小

沼里議員

当市で在宅介護の利用料一律三%への減額を実施したのは大変画期的、先進的な福祉政策として、乳幼児就学前までの医療費無料化と並んで高く評価する。

この保険料については、この十月から全額徴収されることに

なり、しかも広範なお年寄の全員が対象となる。低所得者、低年金者が対象となる。低所得者、低年金者にとっては、大きな負担である。埼玉県では多くの市町村で保険料、利用料の減免を行つてはいる。これらにならつて、低所得者への減免をすべきではないか。

計画の見直し近隣を見ながら検討したい

内田福祉部長

介護保険制度も実施後、様々な調整すべき点なども出て来ており、間もなく見直す必要も出て来て、計画自体の見直しも行われる。保険料の低所得者への減免についても近隣を見ながら検討していきたい。先進的例は埼玉ばかりでなく茨城にもある。

求人掘りおこしに 求人要請書を発送

岡野環境経済部長

全県的にも十一月の内定率は四九・七%、日立地区十二の高校で四八%と県北は特に悪い。これらの状況を何とか打開しようと求人要請書を発送した。こちらのハローワークでも二三名中、十七名しか決まらない状況である。当市ではまちづくり計画の推進の中で少しでも吸収したい。

大手鉄鋼会社のリスト ラ策と当市への影響は

沼里議員

泉不況と言われる史上かつてない不況の中、失業率は遂に五・五%に達し三五〇万人を超えた。実際に失業率はこの倍以上と言っている。若者の失業率は更にその二倍あると言われている。来年高校を卒業するのに就職が決まらないもの。今年卒業したのにまだ決まつてないものもある。潮来周辺でも就職内定率大変悪いと思うがどうか。今人生の真の意味の出発、青年の希望溢れる門出のために市としても出来る限りの対応をすべきではないか。

会社に働く者が多数いる。そこで出されたリストラ計画は「変革と再生プラン」と銘うたれ、出向労働者への差額補給賃金をなくし、三割もの賃金切下げである。又関係会社の半減と下請け単価の三～五割の切下げ、九千人の転籍、金属会社主体の純粋持株会社化と事業分野毎の分社化も進めると言う。目的は会社の競争力の強化のためという。転籍される者ばかりでなく、残る者にも大幅な賃下げが待つてゐる筈である。これはリストラされる者の苦しみばかりか、その地域経済を大きく落ち込ませる元となり、市民生活を苦しめる市収入にも多大の減収をもたらす元にならないか。先のリストラが今日の大不況の元になっているのではないか。この鉄鋼会社には二〇〇〇年末で二八五六億円、従業員一人当たり一九七二万円の内部留保がある。本当に困つてゐるならこれを切り等は出来ない。不況の元と切り等は出来ない。企業には社会的責任がある。ヨーロッパ諸国では規制があり、無闇にリストラ首脳等は出来ない。

労働者・下請業者 影響は大きいが 企業には言えない

今泉市長

当市からも相当の人が勤務しております、影響ははかり知れない。これは企業の経営の問題であり、我々には何とも言えない。

(その他の質問)

- ◎大洲保育所は現在地で改築を。これは企業の経営の問題であり、我々には何とも言えない。
- ◎図書館児童館等教育施設を。津知幼稚園は二年保育及び時間の延長を。
- ◎国保税引下げ、資格証なくせ
- ◎狂牛病、畜産農家へ支援策を
- ◎特養施設いつでも入れる策を

一般質問

野犬の駆除と農業問題について

吉川菊夫議員



野犬の駆除について

吉川議員

牛堀第一小学校通学路の富士見橋付近に、四頭ほどの首輪の無い犬が見受けられる。捕獲されたり。

県の動物指導センターで取り扱っている

岡野環境経済部長

野犬の捕獲については、危険が伴うので、専門的な技術が必要です。現在、市町村では対応しておりません。捕獲については、笠間にあります県の動物指

広報いたこを利用したい

岡野環境経済部長

広報いたこの掲載で飼主への指導や地区単位のチラシを配布

国の指導との違いは

吉川議員

潮来地区においては、転作にコスモスを取り入れているよう

導センターで取り扱っております。週に二回ほど巡回しておりますので、動物センターに本人が連絡をし内容を説明していました。合わせて、犬猫の取扱いについても、県動物センターが週一回市の方に来ておりますので、利用していただきたいと思います。また、飼犬の苦情については、県動物指導センターと連携を取りながら、飼主の指導を行って行きたいとおもいます。

ペットを飼っている市民にもっとPRを

吉川議員

ペットを飼っている市民に、飼主としての意識向上の指導や避妊去勢補助制度のPR等を積極的に行って欲しい。

牛堀地区においては、転作面積一三六ヘクタールに対し、一四〇・六ヘクタールで一〇三・六%の達成であります。

導センターで取り扱っております。週に二回ほど巡回しておりますので、動物センターに本人が連絡をし内容を説明していました。合わせて、犬猫の取扱いについても、県動物センターが週一回市の方に来ておりますので、利用していただきたいと思います。また、飼犬の苦情については、県動物指導センターと連携を取りながら、飼主の指導を行って行きたいとおもいます。

潮来地区一〇八%、牛堀地区一〇三・六%
潮来地区、牛堀地区の平成十三年度の減反転作率は、達成できたのか。

農業問題について

吉川議員

潮来地区、牛堀地区の平成十三年度の減反転作率は、達成できたのか。

潮来地区一〇八%、牛堀地区一〇三・六%
十三年度の潮来地区の転作状況については、転作面積五一九ヘクタールに対して、五二三ヘクタールの達成であります。一〇八%の達成であります。

再質問
吉川議員

潮来地区、牛堀地区が合併三年後に統合することになつてゐるが、減反転作等の調整は進んでゐるのか。

坂本支所長
答弁

三年後ということですが、今、農政課と農業振興課で話を進めているところです。

して指導の強化を図つていきました。本年度から、犬猫の繁殖を抑制するために、避妊去勢の補助制度を設けました。危険、迷惑防止を図ると共に、動物愛護及び関連についての意識の高揚を図っているところであります。

ですが、国の指導と違ひがあるようなのですが、この点についてお伺いいたします。

国の要項に基づき実施

岡野環境経済部長

転作については、国の要項に基づいて実施しております。地域にあつた方策や奨励補助金の上乗せ等により、農家の協力を得られるよう努力していますが、目標面積も年々増えて達成に苦慮しているのが現状であります。コスマス景観形成水田として、要綱にそつて実施しておきり、奨励補助金も円滑な推進が図れるよう推進協議会で充分なる議論をいただき決定しているところです。

中堅農家の 救済について

吉川議員

二ヘクタール、三ヘクタール
といった中堅農家の救済の方策
は。

担い手農家、 認定農業者の推進

岡野環境経済部長

市の農家の平均より、二、三
町歩の農家は上なので、将来農
業を主とした經營をする農家に
は、担い手農家、認定農家を進
めて行きたい。潮来地区で進め
ている農地流動化を牛堀地区に
も取り入れていきたい。

各地区町づくり 懇談会について

吉川議員

市としては、町づくり懇談会
等での市民の意見を、市政にど
のように取り入れていくのか。

多くの市民の意見を 聞き市政に反映する

本宮企画部長

町づくり懇談会を進めていく
には、住民の理解と参加がなく
ては出来ません。しかし、すべ
ての住民の方が関心を持つてい
るとは限りません。無関心の方

のほうが多いのかなと思われま
す。今年七月に実施しました
牛堀地区的懇談会に大勢の住民
の方の参加を頂き盛会に出来ま
した。このような懇談会は毎年
実施をしていて、今年度は
合併初年度ということから、牛
堀地区の住民の方に潮来市の組
織や制度、あるいは、各政策の
説明をしました。住民の意見を
聞くと言うよりは、広報の形で
牛堀地区の住民に知らせるとい
うことが目的であります。牛堀
三地区で二〇三名の参加があり
ました。潮来地区では一九四名
ありました。合計で三九七名の
市民の皆様の参加を頂いて、町
づくりに対する貴重な意見を頂
いているところであります。こ
れとは別に、「市長と語る午後の
ひととき」を、牛堀のララルー
と潮来のアイモアで実施し、市
民の貴重な意見を伺っていると
ころであります。市長の政治姿
勢の基本は、多くの市民の意見
を聞いて市政に反映することで
す。この他にも手紙やはがき、
メール、FAXなども送られて
きています。意見の中では、す
ぐ出来るもの、時間を要するも
のもあります。基本的な町づく
りに取り入れていく公聴会を今後
も続けていくつもりであります。

市長と語る
午後のひととき



牛堀地区
まちづくり懇談会

一般質問

潮来・牛堀

バランスのとれた振興策を

山口 晃男議員



旧牛堀町観光協会 総会で判断

坂本支所長

旧牛堀地区 鯉つり大会について

山口議員

旧牛堀町では、毎年の行事として夜越川で、十一月に鯉釣り大会を行っていたが、今年度は中止になつた。潮来市には大きなイベントのあやめ祭。おどりの響演などあるが、庶民の楽しみである小さなイベントにも配慮をお願いしたい。

山口議員
要望

旧牛堀地区の鯉釣り大会が中止になつたのは、観光協会として桜まつり、花火大会等を行つてきたが、予算に限りがあるので観光協会総会で中止が決定された。予算を花火大会を盛大にする為に使うということだったが、今後検討したい。補助は、旧牛堀町から三十五万六千円。総費用約八十万円かかっております。

「鯉釣り大会が何故中止になつたか」「必ず再開してくれ」と非常に要望が多い。牛堀地区の議員の耳にも入つてゐると思います。何百万、何千万円といいます。何百万、何千万円といいイベントも大事だが、小さなイベントにも充分検討して取り入れてもらいたい。

権現山、北斎公園 周辺の整備について

山口議員

今回の合併により潮来市は、霞ヶ浦と水郷地帯最高の景勝地である権現山公園をエリアに入ることが出来た。現在、潮来市で進められている、大きなプロジェクトの前川整備基本計画。

五年間で五億円という事業であるが、水辺の街潮来にとって、水郷情緒を実感出来ると言う観点から、是非積極的に進めてもらいたい。同時に、この最高の景勝地である霞ヶ浦と権現山公園の所謂北斎公園一帯を有効に活用することは重要なことだと思います。観光客が、潮来市に来訪する場合、東関道潮来インターと共に、牛堀の北利根橋を通りて来る場合も多いと思います。その際に、橋の下に広がる北斎公園にアヤメなどを植えたら、景觀が一段と良くなると思ふ。もともとその場所には、マコモやヨシ、菖蒲等が植えられていたので容易に出来ると思ふ。現在、牛堀地区は商工業者の衰退など地盤沈下が激しく、将来が大変心配されています。

平成十六年に予定される牛堀統合小学校のオープンに伴い廃校となる牛堀第一小学校の跡地も

牛堀地域の観光、 公共用地跡地利用に 充分配慮

本宮企画部長

含め、権現山、北斎公園の整備開発が成されれば、この地域の活性化に大いに寄与すると思われます。潮来市の観光の中心として、前川周辺整備と同様によろしくお願ひします。

両町のリーディング事業には、前川周辺整備事業と水辺の街再生事業がありますが、今後これらの事業の連携を図りながら、観光市潮来にふさわしい魅力ある街づくりを目指していきたい。一方、平成十六年度、統合小学校開校後における牛堀第一小学校跡地の利用及び新宿舎建設における牛堀支所の取扱いなど、ご質問にある水郷北斎公園、権

現山周辺地域の一体的な整備は、これから牛堀地区の振興、潮来市の均衡ある発展からも重要な事と認識しております。市議会及び公共用地跡地利用検討委員会の意見を取り入れながら、構想を策定している所であります。生涯学習的な施設の整備が中心になるのではないかなど考えております。北斎公園といふところがありまして、河岸が出来ております。前川の河岸を

含めて一つの舟運のネットワークというが、周遊のルート作りができるのではないか。北斎公園にアヤメを植えることは良いことだと思う。現在、市の花となつておりまして、両町合併のアピールはもとより、アヤメを植えることにより、合併の住民の一体感が期待されるところと思います。

要望
山口議員

牛堀第一小学校跡地は、図書館か郷土資料館を作つたらどうか。現在、二階建て作りの校舎が建つてゐるのですから、新しく他に作る事は無いと思います。駐車場としてもあれだけの校舎があるので、この点も充分に配慮して検討してもらいたい。それに権現山公園に、二、

三十メートルのタワーを建てたらどうでしょうか。展望タワーですが、鹿島灘まで見えることでしょう。前川周辺整備と共に、権現山、北斎公園周辺の整備も是非お願いしたい。新生潮来市の二大観光拠点になるとと思います。

オンブズマン制度について

山口議員

オンブズマン制度について

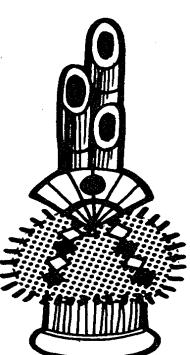
平成十四年四月から、つくば市で県内で初めてのオンブズマン制度は、市民からの苦情について、行政や議会から独立したオンブズマンが、住民の代理人として調査を行い必要に応じて、市に是非、又は、改善の措置を講じるより勧告することが出来ます。オンブズマンの設置は、市民主権の理念に基づき、市民の市政に関する苦情を公平、公正な立場で、迅速に処理し、開かれた市政の進展と市政に対する市民の信頼の確保に資することを目的としています。オンブズマンの定員は一人で、議会の同意を得て市長が任命。任期は二年。社会性や客觀性を確保し、市民の立場や行政の特性に配慮できる人となつております。情報公開と並んで、オンブズマン制度が、新生潮来市の行財政改

革に大いに寄与すると思われます。オンブズマン制度は、市民会や議員の権限に関することなどは、調査対象にならない事が条例に盛り込まれている。行政が設置するオンブズマンは、神奈川県川崎市、藤沢市、埼玉県鴻巣市などにあります。市当局の考えはどうか伺います。

他の制度との 関係も考慮して

箕輪総務部長

潮来市としては、住民から信頼される行政を目指すという点から、平成九年九月二十六日、情報公開制度を制定した。市长への便り、ホームページ提案ということで、市民から多くの提案もいただいております。住民の懇談会も行つております。一方では、監査事務といふことで監査の事務も行つております。さらに新たな制度を必要とするかどうか、今までの制度もありますので良く検討していくたいと思います。



来市も情報公開制度を取り入れたことにより、市民オンブズマンからの色々な要望がきています。それが、是非潮来市でもうが良いと思います。市当局の検討を要望いたします。

ます。

水質浄化対策に潮来市が中心的役割を

松崎議員

潮来住民の上水道の水源となっている北浦の水質は、少しづつ悪化の傾向をたどっております。北浦の水質を守るために、潮来市が中心となり広域的に生活排水対策を推進していくことが不可欠ではないか。

生活排水対策に 重点を置いて活動

岡野環境経済部長

西浦、北浦流域で構成する霞ヶ浦問題協議会の組織があり、水質浄化対策、環境保全に関する調査研究、国県に対する陳情要望等を行っており、生活排水対策に重点を置いて活動をしております。

誠実を持った農政を

松崎議員

国は減反政策を三十年以上確立対策事業の目的を何度も書き替えている。農家の方々は、行政が決めた水田農業経営確立対策事業の推進を受け減反に取り組んでいる。見直しも結構ですが、農家に誠実性を持つて慎重に取り組んで頂きたい。

集落単位で 目標達成したい

岡野環境経済部長

制度、施策が変わるなかで、各関係機関と協議を重ね苦慮しながら地域性を考慮した方策を立て推進を図って来ております。十四年度も県からの目標面積に基づき、協議会で協議を頂き、生産者に対し配分し、推進については、集落単位での目標達成と国の助成措置が有利な集団化が図られるよう推進して参ります。

安全な牛肉確保に 市の支援を

松崎議員

趣味としてコメを作っている方もいると聞いております。それを一連の政策でやるべきか疑問を感じています。景観作物もあります。五十ヘクタールの大規模農家を早急につくるべき一応の論議はしてきております。一つの目標として応援をしていきたい。

若者たちの 定住対策を図れ

松崎議員

少子化が進めば町も国も衰退して行くといわれている。若者たちの意見、知恵を行政に反映し、若者たちが定住意欲を盛り上げる社会的仕組みを構築することが行政に与えられた役割である。行政組織に「若者対策室」を設け行政が真剣に取り組むべきと考えるが。

企画部と調整に努力

岡野環境経済部長

安全な牛肉が入れるように、企画部と調整し、業者と話し合いかが出来るよう努力して参りたい。

若者対策室は 企画部で対応

本宮企画部長

定住人口の増加対策は、産業、教育、福祉、環境都市基盤の整備等行政全般にわたる対応が必要で、企画部で若者たちと話し合う機会を設置して行きたい。



額賀代議士が会長で私が副会長の霞ヶ浦北浦地理水環境期成同盟という組織もあり、国土交通省にも入って頂いて活動をされております。

やる気のある農家育成

今泉市長

認定農家の皆さんとの懇談会でやる気のある方は大勢おります。大規模経営を思考される方もおります。農家の方から、

安全な牛肉確保に 市の支援を

松崎議員

狂牛病問題は、酪農家、流通業界、外食産業、消費者も混迷を深めています。国のいってることは、信用性がない。私は行政が積極的に市内の業者と一緒に確保される支援対策を図るべきと考えるが。

一般質問

潮来市が中心となり

水質保全対策の推進を

黒須 渡世栄 議員



水質汚濁防止組織について

鈴木建設部長

水質汚濁防止対策については、いくつかの組織がつくられています。先ず、霞ヶ浦流域下水道整備促進協議会、茨城県下水路整備促進協議会があります。その他に、水質汚濁防止のため下水道普及の啓蒙啓発事務面での管路の整備等を含めた協議会を進めております。

霞ヶ浦下流域 水質保全対策を

黒須議員

二十一世紀は、食糧不足の前に水危機が到来すると言われております。潮来市水道の水源は、

北浦に依存することから水質汚濁防止策が必要不可欠であります。潮来は下水道整備八〇%と積極的な推進を図っておりますが、水源防止汚濁防止対策として、下水道未整備地区を含む北浦周辺市町村と連携を図り、水源水質汚濁防止連絡協議会を設置されはどうか。

再質問
黒須議員

北浦周辺下水道未整備自治体について、下水道推進潮来市が中心となり、連絡協議会の設置を図られては。

答弁
今泉市長

北浦周辺自治体の中で、下水道の未整備地区がある訳ですが、私も折にふれ各首長さんにお願いをしている所であります。未整備地区には公明党議員もいますので、これは各自治体の問題

市雇用対策計画書を 県に申請

岡野環境経済部長

国は新たに緊急雇用特別交付金を創設し、各都道府県に交付することと、県は今回市町村に五千万を配分し、来年三ヶ月間で二六〇人の雇用人員を確保する計画になつております。潮来市は教育委員会で市立幼稚園の預り保育事業で新規雇用六人、更に小中学校学習指導員二人、道の駅環境整備事業で五人、三人の雇用申請計画書を県に提出したところである。

雇用対策について

黒須議員

十一月十六日に成立された二〇〇一年度補正予算には、緊急性の高い地域の公的事業で雇用を生み出す緊急地域雇用創出特別交付金三千五百億円が計上創設されて、都道府県に交付されます。都道府県は交付金で基金を設け、同様の事業を市町村が実施する場合、雇用対策として県から補助金が支給されます。極めて厳しい雇用状況にある昨今優位な国策であり有効活用を図られた。

市外施設主治医との 委託契約が必要

内田福祉部長

予防接種の対象者には予防接種を受けるように努める義務は課せられておらず、対象者が接種を希望する場合のみ接種を行うこととされています。従いまして、個人接種となり住民の皆様への公平さを考慮し、個人負担一〇〇〇円、市負担二五〇〇円で医療機関との委託契約を結んでおります。市外の施設などに入所されている方は主治医との委託契約ができれば実施できます。

インフルエンザ 予防接種について

ありますので連携を図り、協議して頂きたいと思います。

都市基盤整備について

黒須議員

前川整備基本計画を基に範囲を潮来市全区域の水辺に拡大し誰もが誇りと愛着のもてる水郷の名に相応しい水辺のまちづくりを目指す観点にたち、前川整備を基に延方干拓水路の整備を一体化して行うことで前川の治水水質浄化対策に結ばれるものと考える。執行部の見解を伺う。

市財政では出来ない
が関係機関と調整を

本宮企画部長

国土交通省が内水対策として排水機場の設置をする訳ですが位置の確定されておらず、更に干拓用水路の改修事業をどういったかたちで負担していくか、おそらく国・県の負担になると思われますが数十億円の事業費になると思われますが、将来に渡つて前川基本計画と関連性があります。特に周辺の景観整備或いは、川の駅づくり、舟のネットワーク計画、水質浄化も含めた調整をしている所であり、今後共努力して参ります。

環境整備について伺う
黒須議員

市民の安全と環境を守る観点から、平成十二年、十三年度

二ヶ年計画でダイオキシン抑制施設改良工事も完成され運転を開始されて、ダイオキシン数値が、ナノグラムからピコグラムと抑制濃度が厳しく更に、市民生活様式の多様化に伴い市民から出されるゴミの質も多様化することから抑制装置改良後のダイオキシン濃度指数を伺う。

基本数値以下の
維持に努力する

岡野環境経済部長

廃棄物処理用の将来的回収に伴い二年かけて建設した所であります。現在の施設での実測値が昨年十二月時点で三一ナノグラム建設された施設は平成十四年度適用になる基準値が一ナノグラムに、実測値では〇・五ナノグラムになる。現施設は、〇・一を目標としております。

かなり低い基準値を保てるものと思われます。

健康増進対策について

黒須議員

少子高齢化の進展に伴い四人に一人は六十五歳と言われる二十一世紀を迎えて、どこの自治体も国保老人保険拠出が見込まれ潮来市も例外でない。大洋村では高齢者健康増進対策として、筋力トレーニング施設の整備で老人保険の拠出が抑制されてきたが、ナノグラムからピコグラムと抑制濃度が厳しく更に、市民生活様式の多様化に伴い市民から出されるゴミの質も多様化することから抑制装置改良後のダイオキシン濃度指数を伺う。

健康づくり施設の
必要性も考える

内田福祉部長

現在潮来市で取り組んでいる健康増進対策として、ウォーキング講座、いきいき健康体操、元気老人講座、悠久塾、水泳、クロッキー、ゲートボール、ヘルスランドさくらでの健康運動実践指導者による健康法、筋力トレーニングルームでの運動などありますが、個人差があり自ら合った健康法を見つけ、無理せず健康増進に努めることは老人医療費削減になり将来的には健康づくりの拠点とする必要性も考えられます。

W杯送迎用駐車場
跡地利用について

黒須議員

長年の課題であった観光農園跡地に道の駅いたことが建設され来年四月にオープン予定、更に来年六月に開催されるW杯送迎用に整備された面積四・五ヘクタール駐車スペース一七〇〇台の面積と伺う。W杯送迎用に使われるものは来年六月試合終了後W杯駐車場跡地利用にオートキャンプ場設置とのご提案であります。設置した場合収支計算はどうなのか、大きな問題がありますので、先進地等の資料等を充分に調査し提出して頂ければ私共も検討して参ります。

ていると伺っています。潮来市での健康増進対策を伺う。

市民広場として検討を

本宮企画部長

W杯臨時駐車場として、県による施行で盛土整備がされています。跡地利用方においては、具体的な方針は無いが、国・県の事業誘致等も行っている関係から、新たな事業投資も控えて暫定利用として現況を生かした利用をして行きたい。特に市民広場イベント広場として生かすことも可能だと思います。なお、道の駅後背地についても駅道の駅いたこと一体的な利活用を図れるよう協議を進めているところです。

再質問

黒須議員

W杯送迎用駐車場跡地利用について、整備費をかけず生かす方策として、オートキャンプ場の設置を図られては。

答弁

今泉市長

W杯駐車場跡地利用にオートキャンプ場設置とのご提案であります。設置した場合収支計算はどうなのか、大きな問題がありますので、先進地等の資料等を充分に調査し提出して頂ければ私共も検討して参ります。

一般質問

現在の財政状況について

長谷川 幸雄 議員



起債と償還について

長谷川議員

昨今の地方自治体を取り巻く

財政状況は、大変厳しい状況で

あると思う。快適で、便利な生

活を追い求める住民要望に応じ

れば応じるほど、財政が苦しく

なるのは避けられません。私は、

各家庭の家計も自治体の財政も、

健全経営であつてこそ立派な家

庭が、自治体が、出来ると確信

します。自治体に倒産はないで

すが、十年先、十五年先に、禍

根を残し、あの人達が議員時代

に無謀な財政運営を認めたから

苦しくなつたと、言われるのは絶対に避けなければなりません。

「転べば先の杖」と申しますが、審議機関の一員として危惧する点を申し上げ又要望するもので

す。

大筋で申しますと、十三年度予算一六〇億、税収三九億、今

年度分将監償還十二億、累計起

債総額二一六億です。現在の社

会情勢から推察するに、自主財

源の基である税収の増は、見込

めません。また国の行財政改革

の計画で、地方分権すなわち交

付金の削減が予測されます。そ

こで、先ずこの大きな起債残高

を十年先まで公表して欲しい。

十二年度の償還金は九億六千、

十三年度予算で十二億六千と、

一年で三億の増です。これは、

硬直化が始まっている状況だと

思ひざるをえません。ぜひ、明

示して欲しい。要望します。

ピーカは十六年度

本宮企画部長

今までの起債の償還計画を年

度別にお知らせします。十四年

度十三億、十五年度十五億、十六年度二十一億、十七年度十六億、十八年度十六億です。ピーカは十六年度の二十一億です。

長谷川議員
再質問

今年度十二億の借金返済で、硬直化を感じますが、十六

年に二十一億の償還をしなければならない訳ではあるが、自主財源の増が見込めないので慎重に対処して欲しい。

今年度、起債の大幅な伸びの要因は、特別会計の二町環境衛生組合分と旧牛堀町の会計打ち切りによるためで、十六年の二

十一億の償還もそれにそつたものです。

本宮企画部長
答弁

今年度、起債の大幅な伸びの要因は、特別会計の二町環境衛生組合分と旧牛堀町の会計打ち

切りによるためで、十六年の二

十一億の償還もそれにそつたもの

重点施策との 関連性について

長谷川議員

近々十四年度予算編成に入る訳であるが、先程の義務的経費の公債費、人件費、扶助費を計

上後の投資的性格の金額が市民に、いくら位事業で返せるか、真剣に取り組む時期である。必要な施策の選択である。次にそ

うで、我々同様庶民層が多いので、公平に、公正に、行政の恩恵が受けられる施策。将来の貴重な資源である子供達の育成関係、環境対策（ダイオキシン）、介護保険等、社会保障の充実、身近な生活関連の整備をお願いするが、この状況の中でどう考えるか。

慎重に進めたい時期

本宮企画部長

法定協議会で審議された事業は、学校関係、道の駅、ダイオキシン対策等、主要事業はこの起債計画に計上してあるので、対処できると思います。しかしながら、慎重に事業選択は、進みたい時期と思っております。

長谷川議員
要望

我々も旧牛堀町の身近な施策であつた地区助成金の打ち切り、防犯灯の電球代の府内管理等により、説明しろと市民の方々に

問われるが、その位は我慢して、市全体のことを考えてくれと承知してもらっています。財政に関しては、執行部、議会共々、慎重に対処していただきたいと思います。

農地の荒廃化防止と 再開発

長谷川議員

当市の基幹産業の一つである水田対策についておたずねいたします。米価の低迷のため、水田の荒廃が見られます。基盤整備をして生産性を高めた農地は、美田になっているが、整備をしていない水田に荒廃地が見られます。一つの例をとりますと、旧牛堀町と旧潮来町の行政の谷間になり開発の遅れた八反田池の周辺が、あげられます。今では、戸戸集落のきれいな水を石田川そして前川に供給しておりますが、行政として地権者の意識調査等、すべきと思う。減反政策で割当面積に協力しているわけなので、充分な行政の仕事と感じるがどうか。

意向調査等を考える

岡野環境経済部長

このような未整備の地域は、潮来地区二ヶ所、牛堀地区二ヶ所あります。確かに、水田として減反政策の対象になり、農政に協力いただいているわけですが、米価の低迷のため、果たして地権の方々が、整備費用の通常五〇%の自己負担をして事業を選択するか、分からぬの

が実情です。今後、機会があり次第、どうゆう希望を持つているか、意向調査等をしてみたいと考えます。また、農政面ばかりではなく、総合的な土地利用ということも考えてみたいと思う。

農地の再開発について

長谷川議員

前述の農地関係で、要望しましたが、行政の谷間のため、同調できなかつた地域が大塚野地区の西側に、一ヘクタール位農地として、荒廃しております。十六島、霞ヶ浦一望の景勝地です。隣接する大塚野地区の下水道、上水道を併用してもらえば、宅地化は可能ではなかろうかと思ひます。こういう地域を是正するのも合併効果の実践と思われるが、可能性を問う。

今後の検討課題

鈴木建設部長

大塚野地区西側に隣接する旧牛堀町行政区は、区画整理事業外の市街化調整区域です。宅地化にならないかと言ふことです。が、市街化区域の編入には種々の条件があります。先ず、原則として、区画整理という面的な整備、そして市全体の人口フレームがあります。総合計画都

市マスター・プランに基づき、市街化区域内の人口推移等も勘案して、将来の人口計画にそつて、まいりたいと思います。

市街化編入がなされますので、今後の検討課題として対応してまいりたいと思います。

議会からのお願い

市議会議長あての文書・案内状などは市議会事務局へ送付下さるようお願いします。



311-2493

潮来市辻六二一六

潮来市議会議長宛

一般質問

高速バスターミナルについて

高塚直議員

バスターミナル敷地
に該当する様子

ていた面積を遙かに超えている
状況に驚愕している次第であります。

本宮企画部長
現在、そのような内容について、検討中ですが、該当する筈です。

町の町民代表と協議の上作成した即ちバランスのとれたまちづくりの建設計画に支障を起すことはないか。

高塚議員
再質問
伺つてきました限りでは、基本になる算定が理解できません。四億円の事業費、すでにありきのようと思われてなりません。

本宮企画部長
県道路公社の
主体事業であつた



合併建設計画主要事業
に提示されなかつた
理由は

本宮企画部長
平成七年から、県道路公社が事業主体で、停留所を目的で進めてきたが、合併建設計画設定後、駐車場の機能を持つバスターミナルに潮来市の主体事業に切替えたためであり、この事業は建設計画の見直し事業ではない。また、潮来市の収益事業であるため心配ないとと思う。

高塚議員
九月六日の全員協議会に高速バスターミナルを新設するとの案が提示されました、この問題は地域住民の安全、利便性の為、必要であると言つところは理解します。しかし、この案は

高塚議員
総事業費四億円、
国土交通省補助一億
円の内訳は

本宮企画部長
答弁
四億円という金額については、ある程度概算で価格を積み上げてきたが、土地代やいろんな要素が絡んでくるので、内訳等については申し上げる段階ではありません。後日、決定次第議会及び全員協議会でご説明いたします。

高塚議員
土地一反歩の
買収価格について

本宮企画部長
起債額及び
償還期間について

高塚議員

高塚議員
国土交通省の補助金について
合併以前、即ち平成七年からのこと
旧潮来町の懸案であるとのことで、なぜ莫大な事業を主要事業として扱わなかつたのか。このことにより、旧潮来町、旧牛堀

高塚議員
は、バスターミナルのみ使用可能な説明でありましたが、バスターミナルに使用する敷地代金は該当するか否か、構造物のみか。

高塚議員
土地の買収価格は、一律買上げなのか。県警交通課からの指導により、安全のためには一町三反歩位の面積が必要と説明されていますが、私自身が想像し

高塚議員
このような事業を起こしていく上では、自主財源のみでは無理であり、当然起債が必要であると思われますが、その金額についてお伺いいたします。申すまでもなく起債は市民の借金であり、事業を起こす度に起債額が増加されていく、これは私共

の市に限らず全国の自治体に見られる厳しい現実です。そこでお伺いいたしますが、市民一人に対する負担額は現在七十万位かと思いますがどうですか。

事業の起債額はまだ決定していない

本宮企画部長

この事業に対しては全体の事業費が現在未定なので、起債額等については決定しておりません。ただ再三申し上げますが、この事業は市の収益事業であり、駐車料金を充て起債の償還が出来ると思われます。現在まだ運営母体が市が直接やるか、開発公社がやるか、第三セクターでやるか検討中であり、その母体が決定次第その方法も決まると思います。市民一人あたりの起債額ですが、平成十二年度現在で、約五六万円位で利子は含まれおりません。約七〇万位と申されておりますが、利子を含めての計算だと思います。

駐車料金と維持管理費は

高塚議員

駐車場一台の料金と一ヶ月の推定台数の算定をどの位見込んでいるのか。

現在も交渉中

本宮企画部長

指摘されるとおり、私共も当然と思いますので、今後も継続いたしたい。

駐車場はピーク時で一八〇台駐車可能

本宮企画部長

一日約一三〇台として、一ヶ月約四〇〇〇台を見込んでいます。一台の料金については五〇〇円以下を想定していますが、運営母体が決まり次第料金等も設定されると思います。維持管理費につきましても、運営母体が決まり次第お知らせいたします。

六反歩の維持管理費について

高塚議員

高速バスターミナルの維持管理費については、収益事業として運行している企業が行うべきと言う意見に対し、交渉中との事でしたが、その後の結果についてお伺いいたします。何回も申し上げているとおり、市民の大好きな税により造られる施設を企業に貸与する訳ですから、緑地帯の手入れ掃除一切の管理は、絶対行って頂けるよう切望いたしたい。



現在の高速バス停留所



バスターミナル予定地

して交渉してまいります。

一般質問

前潮来町長、観光農園事業一一億円の不良債権の今後の処理対策について

須田富次議員



これまでの経緯と土地買収及び利用状況は

須田議員

観光農園の計画地は、ご存知のとおり高速インターから一kmで鹿嶋に通じる道路に面し、しかも二十五haとまとまっていて目立つ場所である。その貴重な財産をなぜ遊休させておくのか。虫食いになっている状態だと聞いているが、今から買うのか、そのほか何か考えているのか。

そもそも観光農園構想は、昭和六十二年多分減反政策と農園を貸して使用料を得るという一石

二鳥を狙つたものだ。当時は、立地条件、発想も非常に良かつた。しかし、社会経済動向の変化に伴い、見極めることと進め方は先見の明とはいえない。結果として、完全に誤った。当初の観光と農業の減反割当を見込んでこの発想が、国と県に認めてもらえなかつた。この時点では、縮小か、中止すべきではなかつたのでは。非常に残念でたまらない。それを逆に計画変更又変更と繰り返し総額五一億円の事業規模に計画が膨らんだ。これを旧牛堀の住民は、五〇億円といつて騒いでいる。そして、其の時点で縮小か中止すべきところを逆に膨らませるという大きな誤り、舵取りを間違つた結果になつたと推測される。人間ですから間違いはつきものである。良くしようと思つて悪くなつたのだろうとも考え方がある。

結んで、その感想をお聞きしたい。

町長改選に伴い見直し凍結

本宮企画部長

土地買収の現状ですが、全体面積二四・五ha、用地買収一六・七ha、借地五ha、未買収地二・八haであります。経緯は、昭和六十一年「減反政策と地域振興を結びつけるため農園を貸して使用料を得る観光農園構想」に始まり、その後、数回の計画変更の後に、潮来水郷楽園構想として全体面積二四・五haのうち約五haの開発行為許可を受けました。平成七年潮来町長改選に伴い、現潮来市長が潮来町長に就任され、この事業の見直し凍結に至りました。この事業の全体事業費が約五一億円となる莫大な事業と予測され、事業計画性、財政事情、投資効果からの課題等が危惧され見直し事業凍結に至りました。その後、町独自の事業展開は財政的に無理であることから、この土地の有効活用としては、議会・町民の意見を聞きながら事業を見直すことと、県や国の事業を積極的に誘致する方針とし関係機関とも協議をしてまいりましたが、

投資額と今後の維持費は

須田議員

これまでに、約二三億円の大金をつぎ込んで買った土地を放置してあるのはどういうわけか。市長あなたは前町長より約二五haというこんなおきみやげを頂いて、それを草ぼうぼうにしておくのは、何か深い理由があるのですか。先日、潮来一中が立派に竣工し、すばらしい教育環境が整備された。工事費が十二

場所の選定にあたり前川との連携を図るために、この観光農園の用地約二haを事業地として選定いたしました。現在、後背地の約三haの土地についても、将来の土地利用向上のために盛り土を行い、第三セクター株道の駅に花による事業の展開を依頼しているところです。またご存知のことおり、一部計画地の利活用として花を植えての環境整備、特産品まことたけの試験栽培地、市民農園などの活用を図つて参りました。残りの土地につきましては、引き続き国県事業の誘致はもちろん民間企業の誘致等にも働きかけ取り組んでおります。いくつかの企業との折衝等もありましたが、具体的な誘致はありません。

億円位だったと思うが、一般財源ベースで見ると二五億円あつたら、日の出中、潮来一中この二校が立派に建った。また、当時の牛堀町の一般会計は一八億円位だったと記憶にある。財政事情の厳しい折、二五億円の無駄遣いと、この後始末更にしづ寄せをどのようにするのか。参考までに申し上げるが、潮来町との合併によって、牛堀町民は一戸当たり一〇〇万円位の不良債権をつかんだわけになる。旧潮来町民にはどのように説明し理解を得たのかお聞きしたい。私も旧牛堀住民に説明しなければならない為政者としての義務がある。また不良債権は銀行、保険会社ばかりではない。この潮来市の観光農園は、誰にもわかるとんでもない不良債権である。小泉総理曰く、「改革なくして成長なし」一日も早くこの不良債権を処理してもらいたい。私の推測ですが、恐らくは一年間の維持費は二五〇〇万円以下ではないとと思う。

今までの投資額 約二一億六〇〇〇万円

本宮企画部長

今までに投資した額は、約二億七〇〇〇万円。内訳は、用地所得費十億四〇〇〇万円、調

査設計等委託料一億四〇〇〇万円、工事請負費一億六〇〇〇〇万円、土地借地料八〇〇〇万円、負担金二億二〇〇〇万円、事務費三億三〇〇〇万円、土地取得利息二億円。道の駅の経費は含まれていません。今後の維持費用ですが、借地料年間五八〇万円。排水負担金一七〇万円。借入金利息一六〇〇万円。

借地契約に大きな問題があるのです

須田議員

借地契約に大きな問題がある。

一つは長期契約したこと、地

方財政法違反ではないか。地方

自治体は、単年度主義が原則で

あって、予算決算を毎年議会が

承認するという制度であるが、

二五年契約とはなんですか。議

会無視もほどがある。例えば、

建物を建てる用地を借りるので

あれば、長期契約も債務負担行為として理解できる。しかし、

観光農園の場合は、単年度契約で毎年更新するという契約内容

が適切妥当ではないか。また、単年度契約なら、相手と相談の上、現在のように使用していな

い土地に年間六〇〇万円も支払わなくてすむ方法も考えられる。

市長は前町長より承継した訳だが、まるきり責任がない訳ではあります。財政の危機的状況から、

ない。それでも前町長は大きなミスを犯した訳であります。日頃の合言葉に血税の無駄遣いと大合唱している。これが本当の誰にでもわかる血税の無駄遣いでないか。コツバを拾つて大木を流すとは、このことである。トップの責任としての所見を伺っていたい。いずれにしても借地について、大きな問題課題を抱えているので、今後どのように対処するのか明確なご答弁をお願いする。

問題はない

本宮企画部長

長期継続契約の場合、途中で

金額が変わらなければ、債務負

担行為として議会の議決は必要

ないということをございますの

で、この契約及び予算の支出方

法については、問題はないと認

識しております。

もう少し時間をお借りしながら、前川周辺整備構想と一緒に

なった中で、一〇～二〇年の構

想の中で開発等を考えていかな

ければならないと考えております。行政の判断の誤りというも

のが、如何に市民に対して負担

を強いるのかということ、私自身も今後そういうことがないように自らを律して市政運営に努めて行きたい

一億円の内容は

須田議員

私は、平成七年三月、観光農園事業を凍結するという政治公約を掲げ、私が当時の町民の皆様の支持を得て当選をさせて頂きました。当時の潮来町民の判断は、正しかったと確信しております。

自らを律して 市政運営に努めたい

今泉市長

私は、平成七年三月、観光農園事業を凍結するという政治公約を掲げ、私が当時の町民の皆様の支持を得て当選をさせて頂きました。当時の潮来町民の判断は、正しかったと確信しております。

延方土地改良区に 二億円

本宮企画部長

二億円の内容は、土地改良区

が持っている財産、道路、水路、

工作物等の買上げの費用です。

延方干拓土地改良区に、平成六

年～七年に四〇〇〇万円で二回、

平成八年～十三年までに二〇〇〇万円で六回支払いました。今

年年度で、この二億円の支払いは完了いたします。共存共榮とい

う観点から、負担金等につきま

しても、低い価格で協力を頑固ことを基本としていきたい。

一般質問

「道の駅」は赤字? 不安解消に

「高速バスターミナル」は「道の駅」に作れ

今泉利拓議員



「高速バスターミナル」を作れる。賛成。 問題は場所。

今泉議員

町づくり懇談会。市長「高速バスターミナル」事業で発言。
◎私はそこに住む人達の為になる政治をやる。

◎色々あると思うが、地主の中野議長には我慢してくれと言つていてる。

◎「高速バスターミナル」は、

えればそうだ。
私の考え方述べる。

今泉議員
町づくり懇談会。市長「高速バスターミナル」事業で発言。
◎私はそこに住む人達の為にならぬといふ。これでは、民間バス会社の為の奉仕政治ではないか。これでは、民間バス会社の為の奉仕政治ではないか。十二億円もかけて作る「道の駅」。赤字になつたら市が税金で面倒を見なければならぬのではないか。多くの市民が心配している。市長は市が三億円。国が一億円、合計四億円の税金を使つても取り戻せると言う。それなら、来年四月にオープンする「道の駅」を「高速バスターミナル」としても利用し、さらに隣に出来る千七百台収容のサッカーワールドカップ用駐車場として駐車料を取れば、少ない投資で大きな成果があげられる。「道の駅」の経営にも使えるようにすれば、「道の駅」も助かる。市民に税負担

◎牛堀の人達も含めて考えた場合、高速バス利用者は潮来市民の一部だ。四億円の税金を使って新しく土地を買い「高速バスターミナル」を作る。ここを利用し、金を稼ぐのは民間バス会社。この人達はバスターミナル作りに金を出そとしない。これでは、民間バス会社の為の奉仕政治ではないか。十二億円もかけて作る「道の駅」。赤字になつたら市が税金で面倒を見なければならぬのではないか。多くの市民が心配している。市長は市が三億円。国が一億円、合計四億円の税金を使つても取り戻せると言う。それなら、来年四月にオープンする「道の駅」を「高速バスターミナル」としても活用し、四億円もの税金は使わない。どちらが良いか誰でも分かる。市政に余計な言い訳は要らない。六月二十二日。高速バ

◎三万二千人の潮来市政。分かりやすく単純で何故悪い。市が四億円の税金を使って民間バス会社の金もうけ用の「高速バスターミナル」を作つてやる。「道の駅」を「高速バスターミナル」としても活用し、

◎三万二千人の潮来市政。分かりやすく単純で何故悪い。市が四億円の税金を使って民間バス会社の金もうけ用の「高速バスターミナル」を作つてやる。「道の駅」を「高速バ

◎牛堀の人達も含めて考えた場合、高速バス利用者は潮来市民の一部だ。四億円の税金を使って新しく土地を買い「高速バスターミナル」を作る。然し、今作ろうとしているは「高速バスターミナル」。地主の中野議長に何故我慢してもらわなければならないのか。地主の皆さんには別の開発計画で協力してもらう方法もあるのではないか。

◎屎処理場、ごみ焼却場を作り。地元の人達は反対。その中で土地提供を求められている地主がいる。その地主に市長や町長が我慢してくれと言うなら分かる。しかし、今作ろうとしているは「高速バ

◎屎処理場、ごみ焼却場を作り。地元の人達は反対。その中で土地提供を求められている地主がいる。その地主に市長や町長が我慢してくれと言ふ。地元の人達は反対。その中で土地提供を求められていい。坪当りの買収単価がいくらになるのか。まだ議会に説明はない。場所変更は出来る筈だ。先日議会建設委員会は、高速道のパーキングからも「道の駅」を利用出来る様にした新潟県新井市を視察した。

今泉市長
市の将来。若者の定住化。東京への通勤も考えて。

今泉市長
潮来インターチェンジ西側で、高速バスターミナルは進めたい。中野議長の土地は、いつでも営業出来る状態になつていて。それをバスターミナルとして協力してもらうので。

再質問
今泉議員

県道路整備課では「国の補助はまだ決まっていない」と言つてはいる。高速バスターミナル予定地の土地購入は、公有財産の購入であり議会の議決が必要だ。

然し議会はまだ議決もしていない。市長は「高速バスターミナル」は潮来インター・エンジ西側に決まった様に新聞や広報で盛んに宣伝している。これは市長が自分の考えに市民を誘い込む。決まったように思い込ませる。自分の考えを市民に一方的に押しつけ突進する市長のやり方は「独裁政治」の見本ではないか。独裁政治とは、個人又は特定の集団が決定権をぎりぎり国民（市民）を支配することだ。極めて危険だ。

答弁
今泉市長

バス会社が、「道の駅」にバスは止めないと言っている。どうバスター・ミナルを作るのか。民主政治だから、議会が絶対反対と言うならやらない。過半数以上賛成ならやる。

答弁
今泉市長

バス会社が、「道の駅」にバスは止めないと言っている。どうバスター・ミナルを作るのか。民主政治だから、議会が絶対反対と言うならやらない。過半数以上賛成ならやる。

インター・エンジ西側に作る。これだけを考えてバス会社と協議している。これでは、金も出さない民間バス会社の言いなりのバスターミナル作りではないか。町長や市長として「良い」と思つてやつた事でも、後になってお叱りを受けることがある。私もお叱りを受けている。勇気ある決断も時には必要と思う。

観光農園予定地は、今確かに荒れ放題。お叱りを受けても止むをえない。然し、「道の駅」が出来ることの辺りは、潮来インター・エンジから車で五分足らず。新神宮橋へ通じる幹線道路がすぐ前を走る。将来、大賀方面からの県道も「道の駅」につながる。これから潮来市の中心で、開発、発展の可能性を持つた貴重な場所になつたと言える。そうした将来の事も考え、是非「道の駅」に「高速バスターミナル」は作ってもらいたい。

町民一人当たり、
**潮来町は六十四万円。
牛堀町は九十一万円。**

本宮企画部長

潮来町は、百六十七億六百五十万三千四百十九円。市民一人当たり六十四万七百十円。牛堀町は、五十七億二千三百八十四万九十三円。市民一人当たり九十一万九千四百九十二円。これに潮来・牛堀二町環境衛生組合を含めると両町合わせての潮来市の起債残高は、二百三十九億七千三百九十四万円。市民一人当たり七十四万二千二百二十七円。

再質問
今泉議員

平成十三年度以後、起債（借金）を使っての事業は、起債予定額は。

答弁
本宮企画部長

牛堀統合小の新築。潮来二中改築。市役所新庁舎工事など。平成十三年度から平成十七年度五ヶ年で、新たな起債（借金）は、百八億四千六百万円。利子は、二十三億四千三百万円。合計百三十一億八千九百万円になる見込み。

再々質問
今泉議員

市長は、平成十六年に市役所本庁舎の新築を手がけたいとしているが、私は、大雨のたびに悲鳴をあげる日の出地区など排水、下水が悪いため困つている人。歴代区長さん達が要望しても中々対応出来ない道路舗装など、日常生活に結びついた事を一日も早く解決してやる。合併して良かったと市民が実感出来る段階で、市役所本庁舎は考える。これなら私も賛成だ。

答弁
今泉市長

合併建設計画のもとに進める。然し、財政も考え、その時点でち係長以上一七一名（全体の五一・二%）。組織の簡素化を判断。

（この他の主な質問）

◎潮来市職員三三七名。このうち係長以上一七一名（全体の五一・二%）。組織の簡素化を図れ。

◎「おどりの響演」。国補助申請せず。福祉バザー中止。何故か。

改築。市役所新庁舎工事など。

平成十二年度末（平成十三年三月三十一日現在）、潮来・牛堀に作つた場合、立ち寄つてもらえないのか」と質問した。市担当者は「協議していない」と答えた。これを見て、市側は「高速バスター・ミナル」は潮来

今泉議員
要望

「日立、水戸方面からの成田空港や羽田空港直行便は、「高速バスター・ミナル」を「道の駅」に作つた場合、立ち寄つてもらえないのか」と質問した。市担当者は「協議していない」と答えた。これを見て、市側は「高速バスター・ミナル」は潮来

インター・エンジ西側に作る。

これだけを考えてバス会社と協議している。これでは、金も出さない民間バス会社の言いなりのバスターミナル作りではないか。町長や市長として「良い」と思つてやつた事でも、後になってお叱りを受けることがある。私もお叱りを受けている。勇気ある決断も時には必要と思う。

観光農園予定地は、今確かに荒れ放題。お叱りを受けても止むをえない。然し、「道の駅」が出来ることの辺りは、潮来インター・エンジから車で五分足らず。新神宮橋へ通じる幹線道路がすぐ前を走る。将来、大賀方面からの県道も「道の駅」につながる。これから潮来市の中心で、開発、発展の可能性を持つた貴重な場所になつたと言える。そうした将来の事も考え、是非「道の駅」に「高速バスターミナル」は作ってもらいたい。

（この他の主な質問）

◎潮来市職員三三七名。このうち係長以上一七一名（全体の五一・二%）。組織の簡素化を図れ。

◎「おどりの響演」。国補助申請せず。福祉バザー中止。何故か。

改築。市役所新庁舎工事など。

平成十二年度末（平成十三年三月三十一日現在）、潮来・牛堀に作つた場合、立ち寄つてもらえないのか」と質問した。市担当者は「協議していない」と答えた。これを見て、市側は「高速バスター・ミナル」は潮来

建設委員会研修視察

期 日：平成13年10月23日～24日

研修地：新潟県新井市

内 容：道の駅事業

農業集落排水事業

「道の駅 あらい」は、上信越自動車道と国道18号の間に建設され、平成12年にオープン致しました。面積8.3ha、全体事業費約42億円（内民間出店舗約14億5千万円）をかけ、更にビジネスホテルを建築中で近日オープン予定となっております。民間による店舗は、11店舗もあり、その脇にはトラック協会経営の施設（1Fはコンビニ）も整備され、新井市経営のくびき野情報館、四季彩館「ひだなん」と併せた施設は特に国道18号よりの立ち寄り客で活気がありました。各施設の管理は、第3セクター新井ふるさと振興㈱が行っており、資本構成は新井市2千万円、JA6百万円、その他4金融機関で全体では8団体資本金4千万円で構成されておりました。

農業集落排水事業は、計画人口4,200人、汚水処理量1,134立方メートル／日で計画された斐太クリーンセンターは、12億3,500万円、管路施設費53億5,700万円、併

せて65億9,200万円の総事業費で建設され、平成10年5月に竣工した事業でした。クリーンセンターは、自家発電設備を初め、臭気もなくすばらしい施設でありました。更に地元飛田地区の集会所としても開放し、地区住民と密着しておりました。新井市は、人口28,073人に対し処理区域内人口16,773人で公共下水道の普及率は59.7%でした。また、農業集落排水事業の加入率は、70.3%と当市と比べて高い率でした。



教育福祉委員会研修視察

期 日：平成13年10月17日～19日

研修地：山口県萩市

内 容：文化財保護について

萩市は、山口県北東部に位置し、中国山脈に源を発した阿武川の下流に形成されたデルタ上に発達下町です。慶長9年（1604年）毛利輝元が築城して以来、約260年間、毛利氏36万石の城下町として栄えました。また、明治維新胎動の地として知られ、吉田松陰をはじめ木戸孝允、高杉晋作、伊藤博文など多くの逸材、政治家を輩出し、近年までに4人の総理大臣が誕生しています。

戦災による被害が少なかったことから、毛利氏36万石の城下町の形態や当時の古い建造物、明治維新前後の史跡など数多くの文化財が存在し、国・県・市の指定文化財は合計で110件あります。（国38件、県21件、市51件）

萩市は、このような先人が残した貴重な財産を保存し、後世に継承するために文化財保護活動を計画的に進めています。特に歴史的な集落・町並みについては、「萩市歴史的景観条例」「萩市伝統的建造物群保存条例」を制定し、保存整備を進め、歴史的環境の保全を積極的に進めています。

具体的には、次のような文化財の保存、修理等に努めています。①国・県等の補助事業を積極的に活用しています。山口県の国庫補助事業予算の4割を萩市が占めています。②個人所有の市指定文化財の修理等については、市で5割を補助し、間違った修理等を防止するため所有者から市が工事委任を受け実施しています。③伝統的建造物群保存地区に指定されると、敷地の奥行き10mまでの固定資産税が免除されます。ただし、屋根は瓦、サッシの色は茶・黒にするなどの規制を受けます。

このような萩市の文化財保護行政の施策は、潮来市においても大変参考になり、またその必要性を実感した次第です。



總務委員會研修視察

期　日：平成13年10月11日～13日

研修地：新潟県加茂市

内 容：市庁舎建設について

この度の総務委員会の視察研修の選定は、平成5年度に新庁舎を建設した新潟県加茂市の状況を視察し、今後の新市庁舎建設のあり方と行財政改革を目的と致しました。

加茂市は、人口33,885人、世帯数9,731世帯、平成13年度の一般会計予算149億2千万円で、当市と非常に似通っている点も視察の大きな要因でもありました。更に、加茂市は、福祉行政の推進、観光開発の促進、農業行政の推進、教育・文化・スポーツ行政の推進、道路・橋梁整備の促進を重要施策に掲げ、日本一の福祉のまちづくりを目指しているまちであり、全国各市町村から視察団が訪れている言わば先進地であります。

视察は、庁舎建設までの経過、庁舎規模、施設内容、建設費等について、具体的に説明を受けて現状を時間をかけて研修して参りました。そして、完璧とも思わせる執行部の庁舎建設の対応等と庁舎の適正規模、建設位置の考え方、これから市の役所のあり方、建設までにどういう協議が必要かなどを良く理解することができ、非常に有意義な研修が出来ました。

潮来市の現状を振り返ると教育委員会をはじめ、第3分庁舎まであるような組織の分散化が市民サービスの著しい低下を招いております。また、防災拠点としての機能、情報化への対応、バリアフリーへの対応などが現庁舎では不可能であり、新庁舎の必要性を痛感に感じるとともに、その具体化にむけて努力しなければならないとの意を委員会

として強く持った次第です。

特に印象に残ったことは、

1. 庁舎の周辺に文化会館、老人福祉センター、母子健康センター、産業センター等があり、特に文化会館は庁舎と隣接され会議や研修等に一体的な利用がなされ、市民の利便性に配慮されていたこと。
 2. 庁舎は、市街地の西はずれに位置するが、交通の便等、市民の利便性に配慮されていたこと。
 3. 4階にデットスペースが確保され、将来の組織の増設に対応できるよう配慮されていたこと。
 4. 庁舎内部は、特に窓口部門を1階にし、市民の利用頻度の多い課を配置したり、受付カウンターに工夫がみられ、基本理念にあった市民サービスに配慮されていたこと。
 5. ロビーを広く取り、その一角に市民の憩いの場を設けるなど、市役所に直接用事のない市民も庁舎を利用できるように工夫され、開かれた市役所づくりがなされていると感じられたこと。



議会に請願 (陳情)

一、様式 請願書は先の様式に準じ邦文で作成してください。

二、
紹介議員 請願には紹介議員が必要であり、表紙に署名又は記名・押印を受けて下さい。

三、紹介議員のない場合 議員の紹介を得られないかつた方は陳情書として下さい。

四、提出部数 請願書は一部提出して下さい。
五、問い合わせ 請願手続きなどについては、会事務局にお問い合わせ下さい。

○○○○に関する 請願書	○年○月○日
	潮来市議会議長殿 (提出者)
	住 所
	氏 名 印
紹介議員 氏 名	○○○○に関する請願 要旨
署名又は 記名押印	理由

議会議員活動日誌（10～12月）

10月 2日	山梨県増穂町議会来庁	議長
	長野県松川町議会来庁	議長
	宮崎県山之口町議会来庁	議長
7日	潮来市消防ポンプ操法競技大会	議長
9日	千葉県柏市議会来庁	議長
	岡山県吉井町議会来庁	議長
	徳島県勝浦町議会来庁	議長
	福井県敦賀市松原神社祭礼（～10日）	関係議員
10日	埼玉県菖蒲町議会来庁	副議長
	総務委員会視察研修（～12日）	総務委員
11日	新潟県小千谷市議会来庁	副議長
12日	長野県東部町議会来庁	議長
	新潟県六日町議会来庁	議長
13日	青少年の集い	全議員
14日	牛堀地区運動会	地元議員
15日	社会福祉協議会理事会	議長
16日	北海道砂川市議会来庁	議運委員長
	県市議会議長会	議長
17日	栃木県氏家町議会来庁	議長
	長野県更埴市議会来庁	副議長
	建設委員会協議会	建設委員
	教育福祉委員会視察研修（～19日）	教育福祉委員
18日	玉里村議会来庁	副議長
	区長会視察研修（～20日）	議長
21日	全国市町村交流レガッタ	関係議員
22日	長野県梓川村議会来庁	副議長
	北海道奈井江町議会来庁	副議長
23日	秋田県象潟町議会来庁	議長
	群馬県太田市議会来庁	議長
	建設委員会視察研修（～24日）	建設委員
24日	教育福祉委員会協議会	教育福祉委員
25日	鹿児島県松本町議会来庁	議運委員長
	富山県福野町議会来庁	議運委員長
	悠々塾視察研修（～26日）	議長
29日	議会運営委員会	議運委員
	全員協議会	全議員
30日	三重県一志町議会来庁	議長
	埼玉県秩父市議会来庁	議長
31日	新潟県板倉町議会来庁	議長
11月 1日	鳥取県西伯町議会来庁	議運委員長
	県市議会議長会研修会（～2日）	副議長
2日	新潟県三条市議会来庁	議運委員長
3日	潮来地区運動会	地元議員
4日	文化講演会	副議長
5日	新潟県月潟村議会来庁	議長
	国保運営協議会	関係議員
6日	潮来第一中学校新校舎竣工式	全議員
	大分県弥生町議会来庁	議長
7日	徳島県羽ノ浦町議会来庁	議長
	和歌山県南部町議会来庁	議長
	社会福祉協議会総合企画委員会	議長
	島根県玉湯町議会来庁	議長
8日	北海道留萌市議会来庁	議長

11月 8日	金砂郷町議会来庁	議長
	宮城県南郷町議会来庁	議長
9日	青森県常盤村議会来庁	議長
	大分県直川村来庁	議長
12日	石川県鹿島郡議長会来庁	議長
	第5回臨時会（～16日）	全議員
14日	新潟県村上市議会来庁	議長
	決算特別委員会	関係議員
15日	島根県邑智郡議長会来庁	議長
	鹿児島県川辺町議会来庁	議長
	熊本県玉名郡議長会来庁	議長
16日	大分県日田郡議長会来庁	議運委員長
	大分県国東町議会来庁	議長
18日	大生神社例大祭	地元議員
19日	議会運営委員会	議運委員
	麻生地区交通安全対策協議会	議長
20日	群馬県白沢村議会来庁	議長
	長野県奈尾町議会来庁	議長
21日	愛知県御津町議会来庁	議長
22日	教育福祉委員会	教育福祉委員
23日	市民文化祭	議長
25日	熊野神社例大祭	議長
	年末清掃大作戦	全議員
26日	千葉県八日市場市議会来庁	議長
	佐賀県厳木町議会来庁	議長
	熊本県津奈木町議会来庁	議長
27日	県北鹿行市議会議長会	議長・副議長
	宮崎県国富町議会来庁	議長
28日	栃木県南那須町議会来庁	議長
	鹿児島県福山町議会来庁	議長
	全員協議会	全議員
29日	鹿行広域町村圏事務組合議会	関係議員
30日	潮来市女性議会	全議員
12月 2日	水郷潮来ハーフマラソン大会	全議員
	活躍する作家展	全議員
3日	群馬県富士見町議会来庁	議長
	ワールドカップ広告塔除幕式	議長・各委員長
4日	潮来市民生委員会嘱託交付式	議長
	第4回潮来市議会定例会（～7日）	全議員
9日	人権尊重教育研修会	全議員
11日	水府村議会来庁	議長
	里美村議会来庁	議長
	潮来市福祉大会顕彰選考審査会	議長
13日	宮城県南方町議会来庁	議長
	潮来市補助金等審議会	関係議員
14日	総務委員会協議会	総務委員
18日	広報編集委員会	広報委員
19日	潮来市補助金等審議会	関係議員
20日	交通安全キャンペーン	議長
	歴史文化推進協議会幹事会	関係議員
	潮来市都市計画審議会	関係議員
23日	潮来市身体障害者福祉協議会クリスマス会	議長・教育福祉委員長
25日	潮来市補助金等審議会	関係議員

議会を傍聴して



日の出地区代表区長

井 上 精 一 さん

平成十三年四月に新生潮来市が誕生して、九ヶ月の月日が流れようとしている十二月定例会を、潮来市長会全員による議会傍聴の機会を得ることができ、関係者の対応に感謝しております。

今まで議会に対しては、議会だよりを通して潮来市の市執行部と議員とのやりとりしか知事が出来なかつたため、今回の傍聴では市執行部と議員とで、どのようにして議会運営が行われるのか、期待と興味を持つて傍聴に出席いたしました。

議場の傍聴席には、区長の皆さんと一般傍聴の方でほぼ満席でした。議場では議員の方が熱心に質問をしていました。

質問の内容は、現在の経済不況から財政問題に発展し、事業

の規模と費用に対しても追求している、市執行部としては、必要な規模と適正な費用で対応しているとの答弁が行われていました。

議員と市執行部との質問のやりとりは、真剣そのものであり、駄弁は許されないと思います。

私が議員や市執行部の立場であつたら、どの位の質問や答弁ができるであろうかと、議員の方や市執行部の方が、日頃から市政に対するいかに研究し勉強しているか敬意を表します。

議員の質問と、市執行部の答弁が過熱してきても、傍聴席では誰一人雑談をしている方はなく、議会の成り行きを息をこらして聞き入っていました。

今回、議会傍聴の機会を得て感じたことは、常日頃、仕事等

に追われ、ややもすれば、議会傍聴をする時間は確保できないと思うが、年に一回位は議会傍聴の時間を確保したいと思つております。



議会傍聴

議会だより

● 議会へ一言 ●



「観光農園用地の

早急な具体策を」

前将監区長 深谷 正さん

新生潮来市が誕生して数ヶ月

で一年になろうとしております
が、地域の発展と明るく住みよい
文化的なまちづくりに日夜努
力されている市議会議員の皆様
方には深く感謝申し上げます。
さて、議会を傍聴して感じた
ことは当然のことではあります
が、実に真剣に討議が行われて
いる様子誠に感心した次第でござ
ります。

社会環境の整備、教育環境の

充実など、幅広い各種諸問題に
対してあれだけの質疑が交わさ
れているには議員の方は言うま
でもなく、行政側も常日頃の十
分なる調査活動の結果ではない
かと思います。大変ご苦労様で

用地問題については、今まで
も充分検討はされてはいると思
いますが、どのようになつてい
うか。

社会環境の整備、教育環境の
充実など、幅広い各種諸問題に
対してあれだけの質疑が交わさ
れているには議員の方は言うま
でもなく、行政側も常日頃の十
分なる調査活動の結果ではない
かと思います。大変ご苦労様で

ございます。

議会活動も多種にわたり大変
だとは存じますが、観光農園用
地問題について疑問を感じる者
であります。

私の認識不足かもしれません
が、観光農園を計画されてから
数年が経過している現在まつた
く進展がないように思います。
当然用地があればそれ相当の維
持管理費が支出されていると思
います。現在のまま推移すれば
税金の無駄遣いではないかと思
いますが、いかがなものでしょ
うか。

るのでしょうか。

最近高速バスターミナル整備
など新しい事業計画もあるよう
ですが、観光農園問題について
も早急に具体的な対策を出して
いただきますよう、議会関係者各
位のなお一層のご努力を期待
し、議会への一言といたしま
す。

「議会だより」につきまして
は多くの方々のご愛読をいた
だき、大変感謝いたしております。
わかりやすく、読みやすい、
しかも、早くお届けできるよう
心がけておりますが、お気づき
の点や、ご意見等がありました
ら、ぜひ、ご一報下さい。今後
ともよろしくお願い申し上げま
す。(M・Y)



議会を傍聴して 市の動きを知りましょう。

受付で住所・氏名を記入すれば
誰でも自由に傍聴できます。

編集後記

第四回定例会も、補正予算他の
議案の可決を得て、会期内に
終了いたしました。

潮来市誕生八ヶ月、今回は九
名の議員の一般通告質問があり、
市政に対する意見や提言が熱心

にしかも、真剣に行われました。
市議のための住みよいまちづくり
をしていくか。議会として、市政
に対するチエック機能を果た
すべく努力をいたしております。
「議会だより」につきまして
は多くの方々のご愛読をいた
だき、大変感謝いたしております。
わかりやすく、読みやすい、
しかも、早くお届けできるよう
心がけておりますが、お気づき
の点や、ご意見等がありました
ら、ぜひ、ご一報下さい。今後
ともよろしくお願い申し上げま
す。(M・Y)

議会広報編集委員会
委員長 山沢 三千子
副委員長 今泉 利拓
委員 内田 正一
大久保 藤崎 藤本 又男
英忠徳 司政司